



「小児科部長就任にあたって」

小児科部長 稲見 由紀子



皆様こんにちは。小児科の稲見由紀子と申します。この7月に小児科部長の任を賜りました。主にお子さんの診療にあたっていますので、はじめましての大人の皆様も多いかと思いますがここでご挨拶させて頂きます。

牛久愛和総合病院の小児科では、現在恩田先生と私の常勤二人に加え、都内あるいは千葉県、茨城県内からのたくさんの医師での診療を行っています。通常の小児科一般診療と、乳児検診、予防接種といった元気なお子さんとの関わり、そして循環器、神経、小児心理といった専門外来があります。小児科についての夜間診療は行っていますが、地域のセンターと連携を取つて対応頂いています。また、総合病院なので病院内の他科との連携が得られるのは当院の強みです。

牛久愛和総合病院の小児科での3年というのは、とても大きい変化をもたらす時間です。生まれたばかりの赤ちゃんが、3歳になつてしまつかりお話を出来るようになつていたり、かわいらしかつた幼稚園生がしつかりした小学生になり、はたまたご兄弟が増えていたりと、大きく成長したことあります。

この成長とは、小児科では最も鍵となるポイントです。赤ちゃんは3kg前後で生まれて、1年後に

は千葉大学小児科での研修を積み、小児感染症をサブスペシャリティとして学びました。幼少時からの家族の転勤や大学生活、また働き出でから引越も多く、茨城の他にも千葉県の各所、岡山、佐賀、大阪、横浜、ボストンに住んだことがあります。どこでも良い出会いがあり、それぞれの土地に大切な友人が今もいることは本当に幸運なことだと思っています。またこの経験からどこでも楽しめる樂天的な性格と環境の変化への対応力が鍛えられました。10年前からこちらの病院で仕事をさせて頂いていましたが、3年前に夫の転勤により一旦牛久を離れ、この7月から再就職で小児科に迎えて頂きました。

一方で、日々見守るご家族としては、成長の個人差が正常なのかそれとも何か問題はないのか、他の人と比べて大きい、小さい、早い、遅い。いろんなことが心配になる時期もあります。また一人では生きていくことが出来ない守られる必要のある子ども。大人の感覚で理解しきれない行動もあつたりして、見守る立場が時にしんどく思ふこともあるかもしれません。そんな時には他の人の助けを借りることも良いと思います。保護者の方だから出来ること、周囲が得意なこと、みんなで子どもを育むことが出来るよういろいろな人が関わつてお子さんの成長を見守る。その一つに小児科も入つていいと考えています。長くこの病院で診療を続けてこられた恩田部長は、患者さんのお子さん、いやお孫さんも診ておられるそうで、これまで小児科の醍醐味で私の目標の一つです。

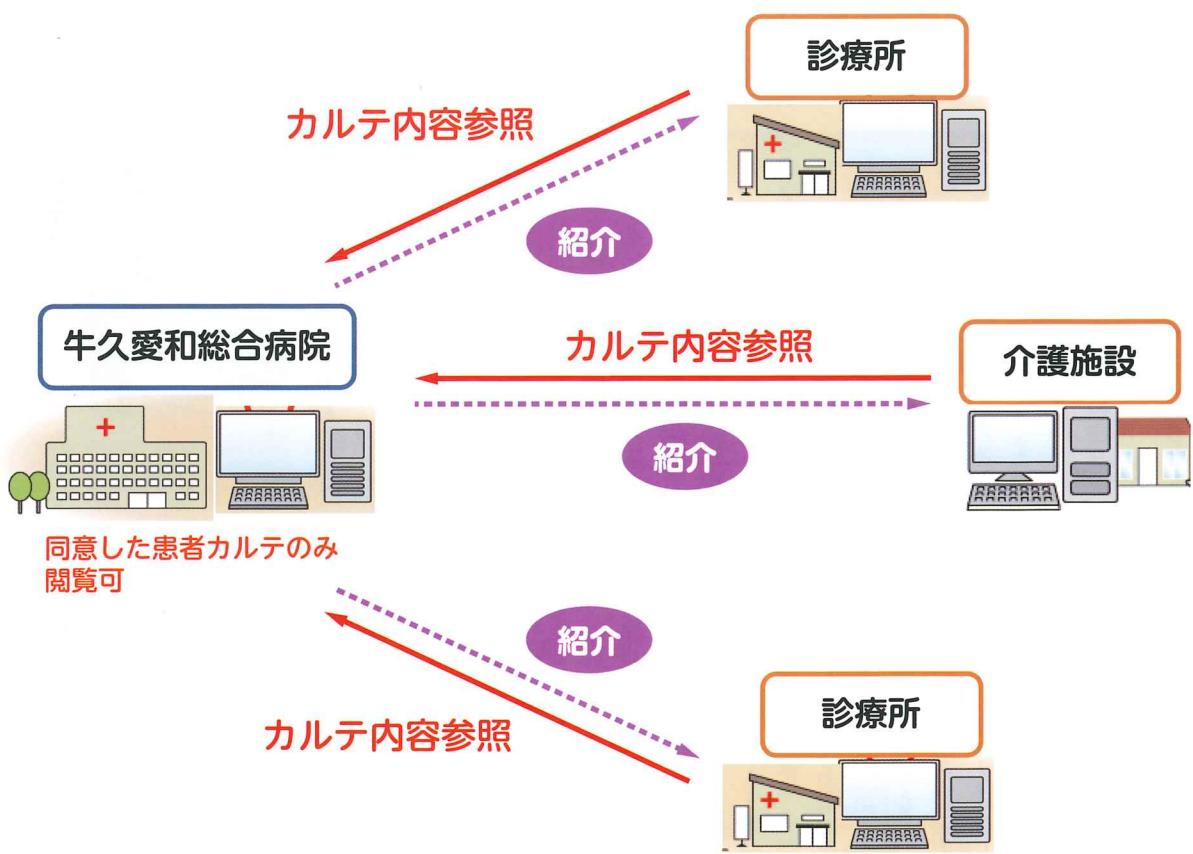
自身についても少し。もともとは岡山の生まれで、大学卒業後

は約10kgと3倍の重さ、身長も約1・5倍に大きくなります。こんな時期は人生の中で他にありませんね。体だけでなく、運動能力や精神発達もものすごいスピードで進むこの時期。この時期だけの特別な宝物のような日々で本当に驚かされます。

診療所等への電子的情報交換サービス(ID-Link)導入のお知らせ

厚生労働省は、地域の包括的な支援・サービス提供体制である「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。こうした背景を踏まえ、当院では2019年8月1日より、地域医療連携システムの「ID-Link」を導入致しました。ID-Linkを活用することで、当院の電子カルテシステムに登録された診療情報（処方や注射や検査等）を公開し、かかりつけの診療所や介護施設等にて閲覧することが可能になります。また、閲覧施設からも様々な情報を共有することが可能になり、今まで以上に連携しやすくなります。患者さんの同意を前提としていますので、許可を頂いた方の分のみ、診療所のインターネット環境で当院の電子カルテ情報を閲覧することが可能になります。各施設が患者さんの情報を把握することにより、質の高い診療を推進できます。また、重複処方・検査削減による患者さんの負担と医療費の低減にもつながります。

システムイメージ



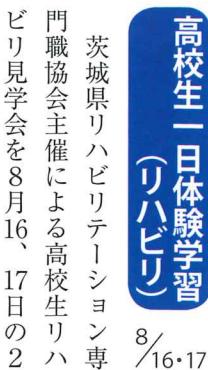
締切：11月末まで

質問用紙提出場所…
C館1階からだ情報館

この度、病院として皆さんの疑問にお答えしたく質問募集を行うことにしました！普段の診療に係る内容や、そもそもその病院の定義など、些細なことでも構いません。皆さんから頂いた質問の中から特に多かった内容に対して回答していくます。

質問募集のお知らせ





夜、雲が切れて、きれいな月
が保育園を照らしていました。

(保育課主任・榎原)

年長児がお月様のお供え物を持って入場し、「これははどうです。」などと紹介して果物や野菜をお供えしました。そして、詩や歌を唄いました。

集会の後、三角巾をつけて団子作りが始まりました。年長児が捏ねた生地をコロコロ上手に丸める四歳児。細長くなる一歳児。色々な形の団子がたくさん出来ました。出来た団子は、皆さんでおやつに美味しく食べました。

(リハビリ・上遠野)

年長児がお月様のお供え物を持って入場し、「これはどうです。」などと紹介して果物や野菜をお供えしました。そして、詩や歌を唄いました。

集会の後、三角巾をつけて団子作りが始まりました。年長児が捏ねた生地をコロコロ上手に丸める四歳児。細長くなる一歳児。色々な形の団子がたくさん出来ました。出来た団子は、皆さんでおやつに美味しく食べました。



お月見

9/13

九月十三日、お月見集会を行いました。

年長児がお月様のお供え物を持って入場し、「これはどうです。」などと紹介して果物や野菜をお供えしました。そして、詩や歌を唄いました。

当日は理学療法、作業療法、言語療法を見学して頂きました。

また、普段患者様に提供している検査や治療を実際に体験して頂き、リハビリ専門職に対する理解を深めることができました。

日間に分けて開催しました。参加者は県内に通学する高校生11名でした。

当日は理学療法、作業療法、言語療法を見学して頂きました。



△出来事ピックアップ

編集だより

夏から秋に季節が変わっていきます。まだ残暑が厳しいですが体調管理に気をつけていきましょう。体調と女心は秋の空。

(K・F)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般 391床 医療療養型 55床 地域包括ケア 43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24 時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

- 内 科 (禁煙外来)
- 整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
- 小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
- 皮 膚 科 (レーザー外来)
- 外 科 (下肢静脈瘤外来)
- ストーマ外来
- そけいヘルニア専門外来
- 透析外来
- 内視鏡検査
- 検診検査 (乳がん検診)

